

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【公開番号】特開2009-34193(P2009-34193A)

【公開日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-007

【出願番号】特願2007-199314(P2007-199314)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 8 G

A 6 3 F 7/02 3 0 9

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月26日(2010.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域に向けて遊技球を発射すべく操作されるハンドル装置を遊技機本体の前面に備えており、

前記ハンドル装置は、

前記遊技機本体に固定される基部と、

前記ハンドル装置の前面側を構成する前面カバーと、

前記基部と前記前面カバーとの間に設けられ、遊技球の発射操作に際して回動操作される操作部と、

を備え、前記基部と前記前面カバーとは第 1 固定構造により固定されており、

前記前面カバーは、

不透明性材料により形成された内側カバー部材と、

当該内側カバー部材の表面を外側から覆うようにして設けられ、前記内側カバー部材が視認可能なように透明性材料又は半透明性材料により形成された外側カバー部材と、

を備え、前記内側カバー部材と前記外側カバー部材とは第 2 固定構造により固定されており、

前記第 2 固定構造は、

前記外側カバー部材において前記操作部により外側から覆われる部位に形成された付勢受け部と、

前記内側カバー部材の裏面に固定され、一部が前記付勢受け部にて受けられる固定部材と、

を備えており、前記固定部材は前記内側カバー部材に固定された状態で弾性変形し、この弾性変形によって生じる付勢力が前記付勢受け部により受けられていることで、前記外側カバー部材と前記内側カバー部材とが相互に近付くように付勢されており、

前記第 1 固定構造は、

前記内側カバー部材の裏面側に形成された固定受け部と、

前記基部側から前記固定受け部に受けられ、当該固定受け部に受けられることで前記基部に前記内側カバー部材を固定する固定具と、

を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記固定部材が前記付勢受け部に受けられていることにより、前記操作部の回動方向への前記外側カバー部材の回動が規制されていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機
。

【請求項 3】

前記操作部は当該操作部の外周部分を構成する外環部を備えているとともに、前記外側
カバー部材は前記外環部の前側端部の全周と前後に対向する対向壁部を備えており、
前記付勢受け部は、前記外側カバー部材において前記対向壁部よりも前記基部側であっ
て前記外環部により外側から覆われた部位に形成されており、
さらに、前記固定具は、前記対向壁部を前記外環部の前側端部に向けて引寄せる方向に
前記内側カバー部材に力を加えて当該内側カバー部材を前記基部に固定するものであるこ
とを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。